

2021年1月24日(日)

日本キリスト教団 **久宝教会**

第63巻第42号(通算3219号)

教会設立 1959年6月14日

〒581-0072

大阪府八尾市久宝寺6丁目7-10

TEL 072-992-2131 FAX 072-992-2135

郵便振替: 00980-5-212130 「日本基督教団久宝教会」

【集会案内】こどもの礼拝: 毎日曜 10:15-10:30 何かお悩みがありましたらご遠慮なくご相談ください
主日礼拝: 毎日曜 10:30-11:30 小さい子どもたちも、いつでも歓迎いたします。

しゅうほう

週報

教会標語

かみさま つく 神様が創られたすべてのいのち
たいせつ きょうかい 大切にす教会



ホームページ「久宝教会」
(ウェブサイト)

http://www.koinonia.or.jp/kyuhokyokai
【連絡先(牛田)】090-9161-4027

kyuho-church@koinonia.or.jp

谷はすべて埋められ、山と丘はみな低くされる。曲がった道はまっすぐに、
でこぼこの道は平らになり、人はみな神の救いを見る。(ルカによる福音書 3:5-6)

こうたんせつ だい しゅじつれいはい 降誕節 第5主日礼拝

しんがた かんせんぼうし りゅうい れいはい おこな
《**新型コロナウイルスの感染防止に留意しながら礼拝を行います。**インター
ネット中継をしておりますので、ご自宅でも共に礼拝をして頂きます》

ぜん そ う もくとう
前 奏 黙 禱

まね ことば ふくいんしょ しょう せつ
招きの詞 マタイによる福音書 4章 17節

さんび か ばん かぜ
賛美歌 21-494番「ガリラヤの風」(©JASRAC)

せいしょ しょんと てがみ しょう せつ
聖 書 ローマの信徒への手紙 1章 8-17節

いの
お 祈り
さんび か ばん めぐ きょうだんさんびかいいんかい
賛美歌 21-451番「くすしきみ恵み」(©教団讚美歌委員会)

メッセージ「すぐそばにある福の音」 牛田 匡 牧師

さんび か ばん なに も
賛美歌 21-453番「何ひとつ持たないで」(©JASRAC)

しゅ いの ページ さんしょう
主の祈り (2頁をご参照ください)

ささげもの
献 げ 物 (*)

は け ん ばん かみ めぐ う せつ
派 遣 21-91番「神の恵みゆたかに受け」(1節のみ)(©JASRAC)

しゅく ふく うしだ ただし ぼくし
祝 福 牛田 匡 牧師

こう そ う ばん きょうだんさんびかいいんかい
後 奏 アーメン コーラス (21-40-6番)(©教団讚美歌委員会)

ほう こ 告 ページ さんしょう
報 告 (4頁をご参照ください)

となり かんかく せき すわ れいはい さんか
《お隣と間隔をあけて、席にお座りになったままで礼拝にご参加ください》

* 「献げ物(献金)」は参加費ではございません。

うけつけ けんきんばこ ようい かた ささ
受付に献金箱がございます。ご用意のある方のみ、お献げください。

招きの詞 ^{ことば} マタイによる福音書 4章 17節 (聖書協会共同訳)

その時から、イエスは、「悔い改めよ。天の国は近づいた」と言って、^の宣べ伝え始められた。

聖書 ローマの信徒への手紙 1章 8-17節 (聖書協会共同訳)

⁸初めに、私は、イエス・キリストを通して、あなたがた一同について私の神に感謝します。あなたがたの信仰が世界中に語り伝えられているからです。⁹私が御子の福音を^の宣べ伝えながら心から仕えている神が証ししてくださることで、私は、あなたがたのことを絶えず思い起こし、¹⁰祈るときにはいつも、神の^{みこころ}御心によって、あなたがたのところに行く道が開かれるようにと願っています。¹¹あなたがたに会いたいと切に望むのは、^{たまもの}霊の賜物をあなたがたに幾らかでも分け与えて、力づけたいからです。¹²というよりも、あなたがたのところでも、お互いに持っている信仰によって、共に励まし合いたいのです。¹³きょうだいたち、ぜひ知っておいてほしい。ほかの異邦人のところと同じく、あなたがたのところでも、何か実りを得たいと望んで、何度もそちらに行こうとしたのですが、今まで妨げられているのです。¹⁴私には、ギリシア人にも ^a未開の人にも、知恵のある人にもない人にも、果たすべき責任があります。¹⁵それで、ローマにいるあなたがたにも、ぜひ福音を告げ知らせたいのです。(脚注 a: ギリシア語で「バルバロイ」)

¹⁶私は福音を恥としません。福音は、ユダヤ人をはじめ、ギリシア人にも、信じる者すべてに救いをもたらす神の力です。¹⁷神の義が、福音の内に、^b真実により信仰へと^{けいじ}啓示されているからです。「正しい者は信仰によって生きる」と書いてある通りです。(脚注 b: 別訳では「啓示され、信仰から信仰へと至らせるからです」)

主の祈り (それぞれご自分のお祈りしやすい言葉でお祈りください)

^{てん}天におられるわたしたちの^{ちち}父よ、^なみ名が^{せい}聖とされますように。

^{くに}み国が^き来ますように。

^{みこころ}みこころが^{てん}天に^{おこな}行われるとおりに、^ち地にも^{おこな}行われますように。

わたしたちの^ひ日ごとの^{かて}糧を、^{きょう}今日も^{あた}お与えください。

わたしたちの^{つみ}罪をおゆるしくください。わたしたちも^{ひと}人をゆるします。

わたしたちを^{ゆうわく}誘惑におちいらせず、^{あく}悪から^{すく}お救いください。

^{くに}国と^{ちから}力と^{えいこう}栄光は、^{えいえん}永遠にあなたのものです。

アーメン。(日本聖公会・カトリック教会共同訳)

《先週のメッセージより》1月17日 降誕節第4主日礼拝 牛田匡牧師
メッセージ「私について来なさい。神様によって立ち上がらされて」より

聖書：マタイによる福音書 4章 18-25節

今回の聖書のお話は、イエス様が最初の弟子として4人の漁師たちに声をかけられたというお話でした。漁師は、当時の古代イスラエル社会では、宗教的にも穢れていると見なされ差別されていた職業でした。漁師たちはガリラヤ湖での漁業権として漁獲高の何割を支払い、更にそこからローマ帝国への税金、領主への税金、神殿への税金という「三重の税制度」で、搾り取られていましたから、彼らは陸の上の小作農たちと同様に、貧困と被差別にあえぐ人たちでした。働けど働けど、暮らしは一向に良くなならない。むしろ網は日々に摩耗し、手入れをしてもほころびは日々に大きくなっていく。彼らはそんな悲しい負の連鎖の中にいました。けれども、イエス様はそんな社会の中で弱く小さくされている人たちを敢えて選んで「私について来なさい」と声をかけられました。

そして彼らはすぐに網を捨て、舟と父親を残してイエス様に従いました。ここで「捨てる」「残す」と訳されている言葉は、同じ語で「そのままにしておく」という意味です。ですから「イエス様に従う」とは、商売道具を捨て去り、生業も家族も捨てて従うことだ、ということではありません。「今日の獲れ高、働きは十分だろうか」「借金は後どれだけ働いたら返せるだろうか」などと考え、常に不安が無くならなかった漁師たちに、イエス様はそのままで「私について来なさい」と言われました。イエス様が「私について来なさい」と言われる時、それは「あなたは何に従っていますか」「あなたが一番大切にしていることは何ですか」と問われているということです。イエス様に従った4人も、この時から悩まなくなり、迷わなくなったのではなく、彼らはこの後も、イエス様と行動を共にしながらも、迷い、疑い、裏切ることさえありました。それでもその度にイエス様は彼らを赦し、彼らは神様へと立ち返って行きました。

神様を信じ、神様に従うとは、今ここで、ありのままの日々の中に、共にいて下さる神様に気づき、心を向けるということなのではないでしょうか。26年前の阪神淡路大震災の時、何もかも失って希望すら失った、もう二度と立ち上がることができない、と思われていた所に、多くの方々の人の手を介して神様が共に働いて、今日へとつながって来ました。「私について来なさい」と言われるイエス様は、「私が今もここにいることに気付いていますか」とも言われています。このコロナ禍の中で、先行きが見えず、目先のことに振り回されて一喜一憂している私たちですが、神様はそんな私たちと今日も共にいて下さいます。神様によって立ち上がらされて、私たちは今日もここから歩み出して行きます。

毎週の「メッセージより」は、ウェブサイト等にも順次掲載されています。

ホームページ



Facebook



LINE 公式アカウント



◎ 先週の報告 (1月17日)

礼拝出席 大人5名 献金 大人6,000円 感謝
 聖書を読む会(創世記27章) 参加者 5名
 さんが初めて来会して参加くださいました。

◎次週 2021年1月31日(日) 降誕節 第6主日礼拝

招きの詞 イザヤ書 30章 20b-21節
 聖書 マタイによる福音書 4章 23節-5章 12節
 メッセージ「幸せはどこにある」 牛田匡牧師
 賛美歌 289番(@著作権消滅)、424番(@JASRAC)、563番(@JASRAC)
 礼拝の中で、12月と1月生まれの方(と今年度11月までにお生まれの方)の誕生者祝福式を行います。

◎お知らせ

- ・本日の礼拝後に、釜ヶ崎支援のために「おにぎり作り」を行い、いこい食堂に届ける予定です。どなたでもご参加ください。
- ・新型コロナウイルス感染拡大のため、大阪府には1月14日から2月7日まで「緊急事態宣言」が出され、不要・不急の外出・移動の自粛が要請されています。教会で感染予防に留意しながら礼拝を致しますが、教会堂に共に集まって礼拝する形にこだわらずに、インターネットの中継配信を利用した在宅での礼拝など、それぞれの方が参加しやすい形で礼拝に参加ください。教会堂では、朝の検温、手指消毒とマスク着用、お隣の方との間隔をあけた着席をお願いいたします。「週報」や「メッセージ(全文)」はホームページからダウンロードして頂くことができます。またご希望の方にはそれらをご自宅までお届けいたします。
- ・今年度のクリスマス献金は、先週時点で106,000円集まりました。どうもありがとうございました。6つの団体に献金いたします。
- ・本日1月24日(日)13時~15時、インターネットにて「福島原発刑事訴訟支援団オンライン集会『原発事故から10年 ここまで明らかになった真実』」が開催されます。科学ジャーナリストの添田孝史さんの講演や、海渡雄一弁護士による東電株主代表訴訟の報告、原発事故被害者のスピーチ、武藤類子告訴団長から福島の実状報告など。ZOOMを使用したオンライン集会で、事前申込不要、参加費無料。先着500名まで視聴可能。詳細は、支援団のホームページ <https://shien-dan.org/>
- ・1月31日(日)14時より、インターネットにて「部落解放協議会2020『部落解放運動の今日まで、そして明日から』」が開催されます(主催:日本基督教団大阪教区部落解放委員会)。講師は京都教区部落解放センター主事代行・鳥井新平さんで、参加費は無料です。参加希望の方は、メール kumedachurch@sensyu.ne.jp か、電話 072-445-2368(久米田教会)でお申込下さい。

◎ 次週以降の行事予定

	会場	メッセージ	行事
1/31	久宝寺地区 久宝まぶねこども園 (新園舎・教会堂)	牛田牧師	誕生者祝福式(12月・1月)
2/7		牛田牧師	聖餐式・教会を考える会
2/14		水谷牧師?	(信教の自由を守る日)
2/21		牛田牧師	聖書を読む会

